



架け橋たれ

2017年、少林寺拳法は、創始70周年を迎えます。



No.2

このコーナーは、幸福運動促進のために、未来へ、後世へ、どのような架け橋を架けていくかを考える、そんなコーナーです。

日中友好交流会、大阪にて開催！

2016(平成28)年4月28日、中華人民共和国駐大阪総領事館で開催された「日中友好交流の集い」に、大阪府少林寺拳法連盟と一般財団法人少林寺拳法連盟が、同総領事より招待されました。

当日は、中国の伝統楽器演奏と、大阪府連盟による演武披露が行われた後、会場内の全員で、「少林寺拳法健康プログラム」を実施しました。

宗昂馬 SHORINJI KEMPO UNITY 専務理事(宗由貴 少林寺拳法グループ 総裁代理)の挨拶と、川島一浩(一財) 少林寺拳法連盟会長の紹介があり、皆で共に爽やかな汗を流し、笑顔が絶えない交流会となりました。



孫忠宝副総領事と宗昂馬総裁代理

少林寺拳法創始者・宗道臣(開祖)は、多感な時期を中国で過ごし、中国への熱い思いを生涯一貫して持ち続けました。それは、戦争への反省であり、日中両国の友好は悲願でした。「日中友好なくしてアジアの平和はありえず、アジアの平和なくして世界の平和はありえない」と、開祖は指導者に説き続けてきました。1973(昭和48)年、中日友好協会会長一行を迎えて日本武道館で開催された、武道各界の歓迎演武会を皮切りに、中国各界、駐日本国中国大使館・総領事館などとの交流は、現在まで変わることなく続いています。



中国の伝統楽器演奏



大阪府連盟による演武披露



少林寺拳法健康プログラム

